施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	いきいきと働けるまちづくり		
	施 策	1	雇用創出	産業部	杉本 一徳

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

○本市を取り巻く雇用環境は、依然厳しい状況にあります。その一方で、地域産業の担い手となる人材の不足や、ライフスタイルの変化による雇用のミスマッチが生じています。
○本市に在住し関西方面を中心に市外で働いていた、いわゆる「団塊の世代」と呼ばれる方々が、定年退職後の就業の場を求めています。

2. 施策の基本方針

Plan

○成長が見込まれる分野において、企業による施設の拡張を奨励するとともに、空き用地、空き施設等への誘致を図り、雇用創出につなげます。また、中小規模の事業立ち上げ、新事業の育成等のための創業支援を行い、多様な就業機会の確保を図ります。
○若者、女性、高齢者、障害者など多様な働き方を可能とする就業機会の確保を図り、生涯現役のまちづくりを推進します。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan **D**o

施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合(%)	目標	-	-	-	31.0	100.0%
	成果	27.4	26.7	29.9	31.6	
創業相談件数(件【延べ数】)	目標	-	-	-	340	100.0%
	成果	22	120	260	361	
シルバー人材センター就業実人員(人【延べ数】)	目標	-	-	-	3,830	100.0%
	成果	759	2,299	3,140	4,012	

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度~30年度)

Plan **D**o

平成29年度から平成30年度は名張市産業チャレンジ支援協議会が事業展開し、2カ年で雇用数184人を生み出すことができました。(内訳、新規創業者21名、子育て世代の就職支援82名、シルバー人材センターへの就業支援40名、その他41名)先端産業立地促進条例第3条の規定に基づき、新たに進出した企業に対し、1件の施設工場の指定し、平成30年度は奨励金を交付しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

シルバーの実就業人数が過去最高の1,030名となり、契約金額も過去最高金額となりました。しかしながら、企業等からの依頼も増えており、慢性的な人材不足が続いているのが現状となっており、更なる会員の獲得が必要となっています。創業相談についても、理美容業や整体等のサービス業など、同業種の相談が多くなってきています。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

シルバーの就業者も高齢化を迎えていることから、また、増加する業務依頼に対応できるよう実就業人数1,100人を目指します。定年を迎えた方や子育て中の女性等潜在的労働者の活用について積極的に取り組み、慢性的な人員不足解決に向け取組を行います。企業に対しても求職者が求める働き方を取り入れた雇用形態の受け入れなど働き方改革に向けた啓発等を進めていきます。創業者に対して市内及び近隣の地域に同業者が過多となっていないか等の情報を伝え、創業者がより長く経営できるよう、また、既存の業者に対してもより長く経営ができるよう取り組んでいきます。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

名張市経済好循環推進協議会を中心に、更なる雇用の創出に取り組むこと。